

823
1918 元

源氏物語年表
上

Freer Gallery of Art
Washington, D. C.

源氏物語結滿卷年立

六条院誕生集

桐壺卷

六条院の桐壺御門の御子母の更衣大絶
のひとありたり。又六条院の御子母の
るく時より終くまはば楊貴妃の御子母
引あつていへばなるありき。この世の
山岸のよきくちきん。いへばいへば
まのよのいへばいへばいへばいへば
六条院の御子母の御子母

二集

三集

桐壺卷

若宮御着袴事

淳氏若乞之

若母御息以病犯事

桐壺更衣乞之

因入御車車宣旨退出内裏則卒去事

若宮依母服退出内裏給事

御息不奔送愛宕同賜三位事

秋遣御負命婦訪更衣母事

故更衣遣相小装束一領上調度木母方以難

御門御後長根奇繪事

同急慕故御息不給事

后教以候若宮系回事

四葉

桐壺卷

春一宮之坊事

朱雀院也母弘徽殿女御
二ノ宗七ノ女

三葉

二葉

桐壺卷

若宮表外祖母小言事

七葉

桐壺卷

若宮御書始事

八葉

九葉

十葉

故更衣御裝束一領作
裝上調度木母方以難
御負命婦命婦奉覽
御門後

十二卷

桐葉卷

若宮於鴻臚館賜之藤人奉

若宮賜源氏姓

之帝女四人入内奉

源氏君常經作左衛門右衛門

のころけ巻よえんはことづきの年乃

事と信新定但四十年のろとハツてごら

色一

若宮常經を以て後号為云
女院

十二卷

桐葉卷

源氏忠尚之服事

於敏末爾有此事加冠た大臣は
大御所御人入内後後賜馬を御事

去取た大臣女為源氏忠副郎事 奏上も也

とんるまのころけ巻よえんはことづきの年乃

その時奏上十六歳よかりはつてごら

つり御紫の装束を御せらるりの

のころけ巻よえんはことづきの年乃

若人少将堀右大臣四女事 若人少将堀右大臣は
若人少将堀右大臣の女は

造部二条院 内侍曹司
於神景金也

十三卷

十四卷

十五卷

己上三ヶ年奉物依中不見

十六卷 源氏為中将 若人少将為中将

第小卷

史志稱號事

及西東物語品定事

及中ねん源氏君能書也
此品以成式了西東物語也
女房ノ品定并西東事馬以物語也今ノ中ねん也
源氏ノ女房上ノ式ノ出物語也

聖日源氏君退於葵上宿事

其表為中神方遠一宿紀傳守中川家事

同時始見空標君事

小若物系源氏君事

小若物源氏君書於空標君事

源氏君入為方遠中川宿事

史並
空標卷

源氏君自中川家出給事

第小卷の終乃何とけり書はべきなり

外中川よとせり終つて秋の事

同六月に又傳小若宿中川家事

空標君と西川方打其宿事

小若川守源氏君令通空標宿不取玉為家宿事

源氏君人遠在道西川方事

源氏君取為家出給事

老人見源氏君保小物君事

源氏君還二空院送物於空標君事

史並
夕秋卷

及以通六条山息而一決お務大式乳母送別物事

家給事

小若君今奉号官那
源氏

六条山息不え宿場山息而一後秋夜中二乳母とみり
と年山息不四中二八家ニたり終へ

為加持、二月廿日向小川聖坊事

梅山、次源氏君、其後於源氏未強居、
此其人、相續位、名、出、入、女、之、後、

小柴垣、之、乃、見、次、見、十、幾、年、女、子、給、事、

案、上、是、也、后、若、則、業、上、加、給、母、之、

僧部、其、若、源氏君、後、源氏、事、於、源氏、事、

僧部、奉、信、源氏君、於、我、坊、事、

僧部、信、后、并、娘、若、様、事、

因、河、源氏君、對、面、后、若、次、乞、娘、若、給、事、

内、日、小、山、聖、奉、加、持、并、信、若、奉、後、事、

有人、奉、得、鉢、信、若、奉、賜、也、等、事、

源氏君、若、消、息、於、后、公、件、事、

及、中、將、左、中、并、以下、奉、以、送、事、

僧、初、持、氣、現、今、源氏君、源、給、事、

源氏君、若、得、系、向、養、上、有、事、事、

又、日、奉、書、於、小、山、后、上、件、事、

二、三、日、後、又、奉、惟、光、於、小、山、相、為、少、納、之、乳、母、事、

友、臺、官、烟、病、退、也、事、
源氏君、夢、至、命、婦、密、通、事、

友、臺、官、御、懷、妊、事、

あ、つ、さ、り、の、い、つ、も、あ、が、り、給、後、之、月、

あ、つ、さ、り、よ、る、れ、い、つ、も、あ、が、り、給、後、之、月、の、さ、り、

あ、つ、さ、り、の、い、つ、も、あ、が、り、給、後、之、月、の、さ、り、

源氏君、見、夢、至、人、原、之、事、

秋、七、月、前、奉、奉、奉、奉、事、

皇
於大政所而令男舞樂あり

冬以宿常陸宮女房志能使隨御掛樹

於大政所而令男舞樂あり

於大政所而令男舞樂あり

十二月廿日九月廿日外祖母君卒十二月廿日

十二月廿日九月廿日外祖母君卒十二月廿日

十二月廿日九月廿日外祖母君卒十二月廿日

十二月廿日九月廿日外祖母君卒十二月廿日

十月為幸十月廿日桐中將

十月為幸十月廿日桐中將

十月為幸十月廿日桐中將

十月為幸十月廿日桐中將

皇
於大政所而令男舞樂あり

正月一日正月廿日朝拜給事

正月一日正月廿日朝拜給事

正月一日正月廿日朝拜給事

正月一日正月廿日朝拜給事

正月一日正月廿日朝拜給事

三月廿余日二条太右衛門左衛門源朝光の教にあり
其日源氏君若布袴向二条才給事
始知扇之主事太右衛門左衛門

源氏太右衛門左衛門源朝光の教にあり
或は以て夢を初年スに花宴同年之事
是よりして翌年十二歳の時と源氏を
事とあり然は夜を教ヶ能破ニ三三
太右衛門左衛門三月下旬也源氏源朝光の教にあり
其の其る米菴院受得冷泉院立防
源氏任大將源院教文ト定あり
いづくの日記とありははつといはの行は
不被仍ヨシハハニヤハ花宴時源氏事の中
将宗十九歳より同年に夜よりハ源氏

十九の年任大將より源氏若菜巻に
六条院の昇進の事とありは元は二
より宰相として大將源氏とあり
お遠とあり又相巻巻と常本巻とあり
のニケ年と源氏と年ととありは
九二歳なりとあり若菜巻の初り
お遠とありと女子十四とて天葵と始有
男事と教の書にあり天葵とハ月事
とありは十二とありは源氏とあり
ゆり門のれとありは源氏とあり
歳よりとありは源氏とありは元は二
の時ハ源氏とありとありは元は二

内まらり給へらりし候へ海くはらり
るありてこの秋入給へらりし候へ花
宴まらりし相臺門内位也それよ
同年といふと去年新入候目と
りふ事お遷りし

九一系

物語中無不人位相臺門位と未推
陸よりつり給へらりしと年しは
りふらりしとみづらけ候へ其の末は
門よりぬき給へらりし候へらりし
りしと給へらりし候へ相臺門内位候へ
候へらりしと未推

九一系

葵巻

源氏大将為東宮の後人奉
前坊姫君為斎宮奉
女宮卜定より物語乃中けりしと
りしとと去年卜定よりありしと
りしとと去年卜定よりありしと

葵上懐妊奉

弘徽殿后腹女三宮立つ女院奉

四月女院二度御禊奉

殿上将監大将御隨身奉

賀茂祭日笠若葉曾木奉

大拍君の勅使奉後供奉奉
葵上は物と六条の息不事奉

奏卷

正月一日奏

奏大庭為滿皇女宮所

拂卷

二卷右大臣

六条山息不和付被文了之下向奉

九月七八日以源氏系野宮為子

十六日女官群行奉

源氏系拂枝文於御息所奉

十月院御奉奉 行奉 并 行奉奉

二月一日院崩御奉

十二月九日中渡以後中宮梅之系宮

六二家

拂卷

天下保固

大將君統統奉奉

新物代

二月御遷殿任尚侍奉

勝月秋奉奉

院園非官為女院奉

大將君未思離給

大將君又於細殿為及系尚侍奉

以中好出自為奉

宮通三系宮一日於若

秋宿雲林院奉

奉雲林院紅系於三系

九月九日夜源氏於

退於之次以奔奉

奉東宮御奉

勝月夜尚侍送書於源氏君

十一月一日故院山園忌奉書於中宮

十二月十日中宮御落飾事

結願日中宮御落飾事

山戒師山座主
會婦志回書事

九日集 大將

辨卷

正月奉入道官給事

左大臣上致仕表事

友、兩日三位中將木素合、掩韵與事

十日伴、中將負然事

中將、二角光秋、所書
内八、五、集、紅梅、右大臣、

尚侍君里君、次、度、各、通、事

雷雨、日、又、大殿、本、尚侍、君、出、方、及、付、保、氏、事

紙事

二条、右、殿、右、大臣、當、信、事、被、新、申、右、事

九日集卷

表、系、藤、系、殿、女、御、伴、結、次、中、海、女、系、事

中川、女、不、見、系、園、人、之、簾、系、殿、故、院、女、御、記、事

婦也

於、藤、系、殿、女、御、伴、達、三、君、給、事

三君、九、日、集、

九日集 冷名

次曆卷

源氏、君、有、九、近、定、事、二月九日、

前、二、三、日、後、大、殿、給、事、
對、中、御、女、君、若、若、乳、
母、事、若、若、宮、清、息、事

還、二、系、院、留、西、對、給、事

次、日、後、九、日、集、給、事、
具、對、西、藤、系、殿、事

遷二条院留守事トモノミ共關渡西村事

遣書於尚侍作事トモノミ

泰小山山暮給事トモノミ西沖馬口事

遣書於王命婦トモノミ啓東宮御方事

二条姫君情別事

申付下着次六浦事トモノミ過大和坂事

長海之江立役者トモノミ於京下事トモノミ二条院入宮尚侍

奉書於女官トモノミ又自舟宮之御使事

見花教里以下涉文給事

七月尚侍得系肉裏事

次广山里秋系氣信長事

お子海々廊事トモノミ山若人々御事

十月夜見月思あ事

執事トモノミ若過比浦之次奉消息事

京人々女御大将若事

山里久々氣色事トモノミ源氏若御事

長清消息於明心入道不在事

明石入道又歸お給事

九六案 二位中右為宰相

次磨卷

二月花江思給事

三位中将任宰相來訪次广配事

山里御方人海人献海御物事宰相作事

三月一日上巳後事 西風雷鳴事

源氏君夢想事

吹石卷

西風從不体事

自二条院御役事

立指く大願事

雷落廊火燒事

亦夢又見故院事

二月十三日吹石入乃職御舟奉送源氏君事

三月一日夜夢事

源氏君系和後吹石海事

書法文々々事

吹石入道系源氏君申首物信事

四月更衣長裝束事

呂宋の彈廣陵教事

吹石入道系御前彈琵琶事

入道信吾娘能送事

入道信心中所教事

次日本書事

御門口夢奉見故院給事

二条太政大臣薨逝事

八月十二三日比奈御子給事

對面吹石事

造書於二条院事

源氏君書給於二条院君圖書法給事

正七条 七月任於大納言之位

明石卷

四月主上御藥事

七月九日源氏海京宣旨事

明石上懷姫事 六月よりの子

海京前二三日白明石上給合物書指別事

於新波波後事

降京系二条院給事

後本位權大納言事 去大將事

八月十六夜初奉内事

使河次是消息於の事

舞堂又幕志事久於源氏君事

濔標卷

十月奉為故院行河八條事

河内与尚侍出物給事

正八条 二月任内大臣

濔標卷

二月去宮河元服事 河系十ツ

同女余日春之受禪事 冷泉院是

系香殿河腹河子立給事

同时源氏大納言任内大臣事

致仕大納言任攝政右大臣事 系事二ツ

宰相中将任権中納言

権中納言四君殿女君不^十入内

二条院東院造作^{花宮里などとする人}

三月十六日明石上座^{女子}

右藤原勘申源氏出子^{三人}由事

中のかくりの左殿大長女^位と

一とふふ^子方人将^子竹川の巻

左大臣は^但由^中へ^見され^れも^之後^其

を^ハみ^十四^日の内^に入^りたる^事

後^の事^とし^る事^とす

左内^の宰相^女乃^明心^非君^は乳^付下^向す

八月六日明石上^非君^は十日^事

八月五日^比後^花教^里方^事

源氏君^如元^以津^景舎^乃曹^目子

入道^官准^大上天^皇事^一 清^封院^司子

八月^權中^納言^女入^内事^一 弘^徽殿^女所^是

源氏^信吉^信子

賜^童童^隨身^十人^子若^君騎^馬信^子難^後校^子

齊^宮由^京六^条古^息不^因病^乃尼^事

源氏^初六^条所^息不^因病^乃尼^事

七八日^以後^所息^不卒^去事^一

奉^上文^於前^所宮^事

院^所方^念六^条前^所宮^事

源氏系入道、文中申、前女宮所入内、事終り

蓮生卷

源氏兼行、次、給、考、陰、宮、孤、由、栖、居、事

文中荒焼事、以上源氏、若元、云、事、同、く、事、云

源氏由系事、十月、故院所八條事、後、能、云、云、

乳母侍、故、侍、姑太式、少方、下、向、蘇、葉、事

以上源氏、元、七、事、同、く、事

四月、後、院、敷、里、給、次、足、付、事、蓮生宮、以、推、元

此消息事

同時源氏君、分、入、蓮生、處、給、事

送、裳、未、於、蓮生、文、又、と、拂、在、事、あ、り

不奉、後、二、系、院、東、院、に、申、事、給、事、以上源氏、元、七、事、同、く、事

は、書、何、云、云、と、せ、づ、り、こ、の、あ、り、云、云、事

か、め、な、り、ひ、と、お、ん、ど、の、院、と、う、の、あ、り、云、云、事

後、日、い、と、く、と、い、ひ、り、給、事、り、と、云、云、は、初、り

て、伊、行、平、お、け、実、や、の、後、よ、う、も、ご、う、の、並

と、を、ま、り、但、此、書、の、事、給、い、四、月、は、源、氏、の、君

乃、も、ご、う、の、家、と、云、云、ひ、給、事、と、云、云、実、や、乃

昔、い、九、月、の、石、山、事、云、云、の、事、と、り、り、四、月

と、九、月、の、ら、が、ひ、事、り、り、と、云、云、も、ご、う、せ、れ

乃、と、並、と、云、云、と、り、り、と、せ、づ、り、の、初、給、後

の、作、云、の、事、乃、は、わ、く、と、云、云、と、り、り、

故、伊、行、院、と、い、事、流、事、も、同、く、也

蓮生卷

源氏と御宮山御給事
物語に次ぎ御給事
山里之御堂給事
嵯峨山寺之

玄風卷

東院造畢花教里極給事
御給事
花教里御對

明石上可也之御給事
御給事

明石上修理大井山莊給事
雄飛殿之

明石上并母上奉具御給事
御給事

秋原氏君出御極給事
御給事

後小寺給被定例時極給事
御給事

桂殿道遠給事
御給事

取三日追寄大井家給事

自内裏有御書使給事

歸二条院給諸君事於定上給事

明石御君之御給事

薄雲卷

大井里冬之御給事
御給事

明石御君不奉御給事
御給事

十二月御君身迎二条院給事

同着御給事

此一系
御給事

薄雲卷

正月出大井里給事

源氏御給事
御給事

攝政左政大臣御給事

天慶頻年^ニ也^ク

三月入道宮也^ク 行幸三條宮也^ク

入道文崩御事 ^{北七}

法務僧初作夜后^ニ 次文王上^ニ 御也^ク

王上為源氏也^ク

桃園中勢宮薨^ル也^ク ^{元為式部^ノ}

源氏可任太政大臣^ニ 由^テ 御氣多^ク 源氏固辭^ス

秋加^テ 勝^ル 羊^ノ 蝮^ノ 牛^ノ 車^ヲ 卷^ク 肉^ヲ

權中納言大納言兼大將事

王命降^リ 位^ヲ 遷^ル 殿^ニ 源氏同^ニ 結^ル 事

敏宮女御出^テ 二條院^ニ 給^ル 事 ^{任^ニ 後^ニ 友^ニ 結^ル 事}

源氏泰^ニ 秋^ニ 文^ニ 女^ニ 御^ニ 方^ニ 御^ニ 物^ニ 給^ル 事 ^{又^ニ 子^ニ 友^ニ 結^ル 事} ^{女^ニ 御^ニ 秋^ニ 給^ル}

亦^テ 源^氏 紫^上 西^ニ 對^シ 御^物 給^ル 事 ^{女^ニ 御^ニ 秋^ニ 給^ル}

後^ニ 大^ニ 中^ニ 里^ニ 結^ル 事

橙卷

九月^ノ 舟^ノ 院^ノ 御^後 桃^宮 官^給 事 ^{女^ニ 御^ニ 秋^ニ 給^ル}

源氏泰^ニ 桃^宮 官^給 事 ^{又^ニ 泰^ニ 女^ニ 御^ニ 秋^ニ 給^ル}

翌^日 朝^ニ 奉^テ 橙^花 於^テ 桃^宮 院^ニ 給^ル 事

源氏在^テ 東^ニ 對^シ 迎^テ 院^ニ 官^給 事

紫^君 依^テ 紫^院 院^ニ 給^ル 事 ^{紫^院 院^ニ 給^ル}

十一月^ノ 又^テ 泰^ニ 桃^宮 官^給 事 ^{源^氏 内^ニ 御^ニ 桃^宮 官^給 事}

十二月^ノ 在^テ 二^條 院^ニ 給^ル 事 ^{源^氏 内^ニ 御^ニ 桃^宮 官^給 事}

雪^圍 事 ^{若^ク 中^ニ 文^ニ 御^ニ 前^ニ 作^ル 事}

紫^君 御^物 給^ル 事 ^{又^ニ 上^ニ 給^ル 事}

廿三第
故為皇女院見源氏夏怨給事
源氏夏怨給事

し女卷

四月一日更衣改西服事

權女院除服事 源氏坊給事

大殿皇君出元服事 夕暮大將乞之六位退殿事

冠者君付字事 於東院立給事

入学事

寮試事 文人擬給事

梅童女御立給事 源氏幸后連續給事

源氏任大政大臣事 大將任大臣事

冠者君立内大臣 皇後服給事 比々々給事

雲升居乞事

内大臣依服給事 怨大宮給事

作君立後内大臣給事 作君兼十四事

五節事 長清惟光女為五節事

冠者君聽直衣給事

源氏遣文於御堂事

冠者君立文於惟光女御事

花女里君為冠者君御後事

廿二第

大政大臣

し女卷

四月之改立御覽青馬事 忠仁公別給事

二月末舊院行幸事 三月女院立忌月故事

於長谷寺_ニ遊_ニ志_ス

右近若御_ニ奉_テ六条院_ニ行_キ出_テ勢_ヲ志_ス

源氏志_ス又_テ於_テ勢_ヲ志_ス方_ニ志_ス

同君_玉勢_ヲ先_ニ後_ニ右近_カ六条院_ニ志_ス

十一月同君_後六条院_ニ長町_ニ志_ス
東山_方為_テ志_ス

其_後源氏志_ス對_シ出_テ勢_ヲ志_ス

年_ニ志_ス職_ニ仕_テ來_リ於_テ人_ノ志_ス

某_上花_敷里_ニ志_ス勢_ヲ未_テ掃_ク花_敷里_ニ志_ス
未_テ掃_ク若_唐衣_{可_シク}和_奇隨_心志_ス

志_ス揚_六条院_春山_前志_ス

如_一說_當為_五

聖_皇初_音卷

志_ス揚_六条院_春山_前志_ス

齒_固視_度

明_心涉_方年_後彼_子勢_ヲ志_ス於_テ非_志志_ス

後_花敷_里志_ス方_ニ志_ス

後_西對_非志_ス方_ニ志_ス

後_明石_山志_ス方_ニ志_ス

正月_二日_六志_ス院_條時_志志_ス

後_東院_志志_ス方_ニ志_ス

十四日男_結志_ス方_ニ志_ス
泰_六条院_志志_ス

不_志志_ス方_ニ志_ス

胡_蝶卷

三月_末余_日春_山志_ス方_ニ志_ス

其_後於_志志_ス方_ニ志_ス

中文_山志_ス方_ニ志_ス
志_ス方_ニ志_ス

吾人以被^{ウタヒ}御^ミ給^{タマフ}事^{コト}共^ニ了^ル心^ニ又^モ挿^{サシ}頭^{カミ}取^リ花^{ハナ}

西對^ニ姫^{ヒメ}君^ノ人^{トシテ}通^ス情^ヲ

春^{ハル}津^ツ方^{カタ}法^{ホウ}花^{ハナ}事^{コト}蝶^{テフ}色^{イロ}舞^{マユ}童^{ドウ}人^{ヒト}

案^{アノ}上^ノ彼^レ守^ル消^ス息^ヲ於^テ中^ノ宮^ノ

四^シ月^{ツキ}人^{ヒト}之^ノ通^ス題^ヲ書^キ於^テ西^ノ對^ニ姫^ノ君^ノ

共^ニ了^ル心^ニ又^モ挿^{サシ}頭^{カミ}取^リ花^{ハナ}

源^{タケナカ}氏^ノ若^シ子^ノ玉^ノ鬘^ノ勢^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

源^{タケナカ}氏^ノ出^デ勢^ノ御^ミ事^{コト}格^{キヤク}上^ノ給^{タマフ}

中^{ナカ}宮^ノ季^ノ子^ノ也^{ナリ}禮^レ禮^レ事^{コト}

源^{タケナカ}氏^ノ与^ニ玉^ノ鬘^ノ勢^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

卷^{マク}

玉^{タマ}鬘^ノ勢^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

兵^{ヘイ}部^ノ以^テ官^ノ系^ノ西^ノ對^ニ給^{タマフ}

源^{タケナカ}氏^ノ若^シ乘^ノ勢^ノ於^テ衣^ノ袖^ノ給^{タマフ}

六^ム月^{ツキ}六^ニ日^ニ出^デ馬^ノ場^ノ殿^ノ給^{タマフ}并^ニ駿^ノ馬^ノ

永^{エイ}為^ニ中^ノ津^ノ方^ノ御^ミ事^{コト}給^{タマフ}

源^{タケナカ}氏^ノ与^ニ玉^ノ鬘^ノ勢^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

案^{アノ}上^ノ為^ニ明^ノ名^ノ姫^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

夕^{セキ}勢^ノ中^ノ將^ノ常^ノ春^ノ明^ノ心^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

右^{ミダリ}中^ノ將^ノ依^テ念^ヲ玉^ノ鬘^ノ勢^ノ若^シ物^ノ給^{タマフ}

内^{ウチ}人^ノ臣^ノ友^ノ不^レ忘^ル接^シ子^ノ給^{タマフ}

常^{トコ}夏^ノ卷^{マク}

六^ム月^{ツキ}六^ニ日^ニ出^デ馬^ノ場^ノ殿^ノ給^{タマフ}

源^{タケナカ}氏^ノ出^デ勢^ノ御^ミ事^{コト}格^{キヤク}上^ノ給^{タマフ}

西對山前瞿麥花盛トコナラフなり

源氏若葉和琴ヒ又キカハラ秋費川ヒ終アなり

内大臣殿源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

内大臣殿源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

内大臣殿源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

内大臣殿源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

内大臣殿源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

篝火卷

源氏殿内大臣ヒ終アなり西對山前ヒなり

秋初源氏源氏ヒ終アなり西對山前ヒなり

源氏殿内大臣ヒ終アなり西對山前ヒなり

星野の巻

中宮山前植秋ヒ終アなり

八月燈ヒ終アなり

策上ヒ終アなり

夕秀ヒ終アなり

中将ヒ終アなり

中将ヒ終アなり

朱明ヒ終アなり

源氏ヒ終アなり

中宮ヒ終アなり

中宮ヒ終アなり

源氏ヒ終アなり

次源明ヒ終アなり

次後玉鬘勢山守給事源氏と非志殿給事

次後明之始志山守給事非志人悔思

次後花菱里山守給事

中将戸出紙書文給事付前書致

中将守人明石始志

中将之系三条大宮給事

心大臣系三条文給事管一山守

御幸卷

西狩始志

十二月大原野行幸事

西狩始志之由人皇太子御在所被給

按自内被給之政大臣源氏原氏若後西狩山守

如說世為六六

北七卷

御幸卷

三月大宮自去年冬病癒

二月一日源氏若後三条大文給事

玉鬘勢山守

大宮山文被招請内大臣殿

内大臣系三条宮給事着布袴源氏對面

十六日玉鬘勢山守

自三条山文被招請山守中文被給表唐衣山

内大臣殿系山守給事山守給事

岩袴卷

内侍上山宮山守

内侍上丁有入内者

大将奉宝物或丁内女志手抱

又官款母之後大将奉宝物我官

大将与少方相洽

大将欲出高侍作ルヒト

聖朝大将遣文高侍作スレ

本工君与大将君贈卷

大将出高侍作

大将還故里凡女君送

或丁御官後大将少方姫君書テ

或丁又少方怨源氏

大将系式馬本柱

大将伴男系八系皇子故里

如說是亦應
為七系

北系 太政大臣

喜木柱卷

二月尚侍入内兼名敷东西为曹司

男踏奇事

大将假職曹司ルキシサウシニ时兵丁以談奇ナ稱自ナ

物ナ中ナ高侍曹司ナ

夜主上後高侍曹司

尚侍退於大将モトニ消息ナ者ナ

二月六条院送消息ナ高侍ナ

源氏志ナ東ナ吹ナ風ナ

三月後ナ對ナ見ナ山ナ吹ナ花ナ

